

2018年度9月実施 運営推進会議（介護・医療連携推進会議）議事録

日時 2018年9月27日（木）16:00～16:45
場所 生協くさつ24 面談室
参加者 地域住民の代表者等：欠席
地域の医療・介護関係者：浴長様
家族等：■■■■様、■■■■様
市町村等：井山様（地域包括支援センター）
定期巡回職員：土井山、西村、和田
法人職員：田頭
記録者 西村一穂

【議題】

1. 活動状況報告

生協くさつ24 管理者土井山より報告。別紙参照。

4月からの新規相談 17件中10件受けることが出来なかった。

参加者より質問・・・受けられなかった理由は？

- ・希望する時間の要望に応えられなかった
- ・単位数が足りない ・ルートの回ることが出来ないなど

徐々に介護度が高い方が増えています。それに伴い訪問回数も増え、目安の訪問時間を大幅に過ぎてしまう事もあります。また、排泄等の随時対応や転倒・転落の連絡が入る場合もあり、緊急性を考慮し訪問の順番を変更させていただく事もありますので、その旨ご了承ください。

訪問回数に関しては、利用者の状況や変化に応じ変更を提案させていただく事もあります。

2. 夜間対応型訪問介護開所について。別紙参照。

正式名称「生協くさつ夜間対応ヘルパーステーション」 2018年10月より開所
土井山より別紙読み上げ、説明。

懸念される事項として

- *電話のあった時間と訪問した時間のずれがあるので、夜間対応の時間帯に適応するのかどうか・・・
→臨機応変に対応するしかない。利用がなくても単位が発生しているのだから・・・
- *利用のたびに単位が発生するので、気を付けないと単位数をオーバーしてしまう。
→ケアマネとこまめに連絡をとりあう。

実際に動き出してみないと分からないが、その他にも充電切れの電話の交換方法など今後の課題として検討する必要がある。

3. 意見交流

橋本様（中重様の長女） 定巡のシステムは今回初めて知った。排便のあった時に夜中でも訪問してもらえて安心感がある。

永井様（長女） とても助かっている。不便はないです。

裕長様（訪看かもめ） ベースの回数が少なくても、ヘルパーから直接話が聞けるので良い。
それにより場合によっては定期訪問で入る事もあり、連絡が取れて助かる。
入退院を繰り返されている方に病院側が定期巡回をすすめたが、CMが定巡
を利用した事がなく、使い方が分からないと言われた。
→説明に伺うので、声をかけて下さい。

報告事項 2018年度の介護保険改定で日中帯もオペレーターの兼務が認められ、シフトが管理しやすくなりました。

*次回会議 3月中旬の予定